



上智大学イベロアメリカ研究所

2014年度活動報告

(2014年4月～2015年3月)

No. 22 (2015年5月)

§ 研究会

◆ 研究所共同研究 「トランスポーダー・ラテンアメリカン・スタディーズ」

研究代表者：幡谷則子

共同研究者：Nina HASEGAWA、水谷裕佳、Mauro NEVES、田村梨花、Helena TOIDA、内村俊太、矢澤達宏、吉川恵美子、箕輪茂

海外出張： Nina HASEGAWA (コスタリカ、メキシコ、8月3日～16日)

水谷裕佳 (米国、8月5日～13日)

国内出張： 幡谷則子、Nina HASEGAWA (名古屋、3月7日) 南山大学ラテンアメリカ研究センターと共同研究の方向性についてディスカッション

◆ ランチタイム・フリートーク

第55回 4月22日 幡谷則子 「ラテンアメリカにおける連帯経済—南欧の議論からの学び」

第56回 5月14日 水谷裕佳 「現代のテキサスにおける先住民ヤキの集団形成」

第57回 6月25日 吉川恵美子 「ラテンアメリカの『パフォーマンス』—その社会性についての一考察—」

第58回 7月10日 マウロ・ネーヴェス 「ラテンアメリカポップカルチャー論：50年を振り返る困難」

第59回 10月22日 Juliano Akira ARAGUSUKU 「Brazilian Attitudes Towards Hemispheric Organizations: Concentric Circles」

第60回 11月12日 Arturo SANTA CRUZ 「Mexico at 20 Years After the Implementation of the North American Free Trade Agreement」

第61回 1月16日 千代勇一 「アグリビジネスによる農民像の多様化—コロンビアのアブラヤシ生産を事例に—」

第62回 1月27日 Gabriel GARCÍA 「Globalisation and Insurgent Cosmopolitanism: Guevara, Chávez and the Launch of the Bank of the South (Banco del Sur)」

§ 講演会

◆ 5月14日 “Wonder Rio”

(「ワンダー・リオ—ブラジル都市貧困地域の市民教育プログラムの活動から—」)

Valéria LOBATO GUIMARÃES, Mariana PINTO RIBEIRO
(リオ工業連盟(FIRJAN)市民プログラム SESI-Cidadania スタッフ)

【解説】永武ひかる (写真家・NPO ワンダーアイズプロジェクト代表)

(主催: 上智大学外国語学部ポルトガル語学科、NPO ワンダーアイズプロジェクト)

後援: イベロアメリカ研究所

◆ 10月8日 「チチェン・イツァの太陽の刻印」

Ismael Arturo MONTERO GARCÍA (テペヤク大学大学院課程研究センター長)

(後援: 在日メキシコ大使館)

- ◆ 11月21日 “La sociedad latinoamericana vista desde el arte: práctica y reflexión hacia un Teatro Performativo”
(「アートからラテンアメリカ社会を考える: パフォーマンスとしての演劇を通して—ビオレタ・ルナ氏に聞く—」)

Violeta LUNA (メキシコ人女優、パフォーミング・アーティスト)

〈共催: グローバル・コンサーン研究所〉

[Sophia Open Research Weeks 2014 企画]

§ 特別公開講座

- ◆ 11月12日 “Reformas educativas en América Latina (1990-2014): Principales logros y desafíos pendientes”
(「ラテンアメリカにおける教育改革(1990~2014年) —その主たる成果と今後の課題—」)

Marcela GAJARDO JIMÉNEZ

(ユネスコ・ラテンアメリカ及びカリブ海諸国地域オフィス顧問)

§ 公開シンポジウム

- ◆ 7月17日 「サッカーW杯ブラジル大会を終えて—熱く燃え—一体感を強めたラテンアメリカ—」

モデレータ: 堀坂浩太郎 (上智大学名誉教授・イベロアメリカ研究所名誉所員)

パネリスト: Georthon BRANQUINHO (メルコスール観光局東京局長)

アルベルト・松本 (アイデア・ネットワーク代表取締役)

増岡宏司 (農林水産省整備部水資源課)

ゲスト: 市之瀬敦 (上智大学外国語学部教授)

§ 創立50周年記念シンポジウム

- ◆ 11月14日 「上智大学イベロアメリカ研究所創立50周年記念国際シンポジウム

『アジア太平洋時代のラテンアメリカ』

プログラム

挨拶 早下隆士 (上智大学学長)

シンポジウム挨拶と趣旨説明「四半世紀のラテンアメリカ地域をめぐる変化と今日のラテンアメリカ地域概念」 幡谷則子

第1部 司会 吉川恵美子

基調講演 1「移行期世界におけるラテンアメリカ地域主義の継続性—構成主義からの—考察—」 Arturo SANTA CRUZ (グアダラハラ大学)

討論 牛田千鶴 (南山大学)

基調講演 2「ラテンアメリカ・カリブにおける土地の収奪—その規模とインパクト—」 Sergio GÓMEZ (国連食糧農業機関ラテンアメリカ・カリブ地域オフィス顧問)

討論 谷洋之

第2部 パネルディスカッション「グローバル化時代のラテンアメリカをめぐる」

司会 岸川毅

報告 1「アジア太平洋時代のブラジル」 子安昭子

報告 2「日本におけるラテンアメリカ—Nikkei とデカセギ—」 三田千代子

報告 3「韓国の対ラテンアメリカ観の変容—半世紀の関係を振り返って—」

CHOE, Hae-Sung (ソウル国立大学)

討論 村上勇介 (京都大学 CIAS)

全体討論 モデレータ Mauro NEVES

閉会挨拶 Nina HASEGAWA

§ 出版物

- ◆ 『2013 年度活動報告』 No. 21
- ◆ *Boletín Informativo*, No. LIX
- ◆ 田中 絵梨奈『郷里送金を地域発展に活かすーメキシコ西部トゥスカクエスコ村の「越境するコミュニティ」を事例に一』（ラテンアメリカ研究 ILA No.40 (ISBN: 978-4-904704-12-7)
 - 序章
 - 第 I 章 移民送金と経済発展
 - 第 II 章 郷里送金を活かした地域開発プログラム
 - 第 III 章 在米メキシコ移民と同郷者グループ
 - 第 IV 章 メキシコ西部ハリスコ州トゥスカクエスコ村の実践 38
 - 終章
 - 参考文献
 - 資料
 - 要約 (スペイン語)
- ◆ 上智大学イベロアメリカ研究所創立 50 周年記念誌 21 世紀のラテンアメリカ地域概念 (ISBN: 978-4-904704-13-4)
 - ご挨拶
 - 第 I 部 アジア太平洋時代の新しいラテンアメリカ地域概念
記念特集に寄せて 幡谷則子
 - 第 1 章 自律を目指すラテンアメリカの地域主義 子安昭子
 - 第 2 章 民主主義の時代は到来したのか 岸川毅
 - 第 3 章 安定化、貧困削減から制度づくりへ 谷洋之
 - 第 4 章 弱者の可視化と市民社会形成 幡谷則子
 - 第 5 章 ラテンアメリカのポップカルチャーー50 年の理論的發展 マウロ・ネーヴェス
 - 誌上座談会 1990 年代以降のラテンアメリカグローバル化の下での変容と新たなメッセージの発信
 - 略語一覧
 - 第 II 部 イベロアメリカ研究所 50 年の軌跡
 - 1. イベロアメリカ研究所ー1964 年～2014 年の歩みー
 - ・コラム 1 研究所の礎 グスタボ・アンドラーデ
 - 2. 研究活動
 - ・コラム 2 メキシコへの感謝を込めてー豊福＝メヒコ学業奨励賞
 - 3. 成果と発信
 - ・コラム 3 米西戦争シンポジウム 小林一宏
 - 4. 研究交流
 - 5. 研究所の担い手
 - 課題と展望
 - 活動年表
 - <資料>
 - i. 研究活動 共同研究、ランチタイム・フリートーク
 - ii. 成果発信 シンポジウム、事情講座、出版物
 - iii. 講演会
 - iv. 担い手
 - Trayectoria histórica de los cincuenta años del Instituto Iberoamericano
 - 編集後記
- ◆ イベロアメリカ研究所 編『Simposio Internacional 50 Aniverisario del Instituto Iberoamericano de la Universidad Sofía: América Latina en la era de Asia-Pacífico／上智大学イベロアメリカ研究所創立 50 周年記念シンポジウム報告書「アジア 太平洋時代のラテンアメリカ」』（ラテンアメリカ・モノグラフ・シリーズ LAMS No.25) (ISBN: 978-4-904704-14-1)
 - Introducción / HATAYA Noriko
 - Primera Parte: Conferencias
 - 1. La continuidad del regionalismo latinoamericano en un mundo en transición: una lectura Constructivista

/ Arturo SANTA CRUZ

- Comentario / USHIDA Chizuru

2. Acaparamiento de tierras, situación en América Latina y el Caribe: dimensiones, características e impactos

/ Sergio GÓMEZ E.

- Comentario / TANI Hiroyuki

Segunda Parte: Panel “América Latina en la era de la globalización”

1. Brasil en la era de Asia-Pacífico / Akiko KOYASU

2. América Latina en Japón: Nikkei y Dekasegi / Chiyoko MITA

3. Transformación de la percepción coreana hacia América Latina: retrospectiva de los 50 años de relaciones

/ CHOE Hae-Sung

- Comentario / MURAKAMI Yusuke

はじめに / 幡谷 則子

第1部 基調講演

1. 過渡期にある世界におけるラテンアメリカ地域主義の継続性—構成主義的解釈— / アルトゥロ・サンタクルス

・コメント / 牛田 千鶴

2. ラテンアメリカ・カリブにおける土地買収—その特徴、規模とインパクト— / セルヒオ・ゴメス

・コメント / 谷 洋之

第2部 パネル「グローバル化時代のラテンアメリカをめぐって」

1. アジア太平洋時代のブラジル / 子安 昭子

2. 日本におけるラテンアメリカ—Nikkei とデカセギ— / 三田 千代子

3. 韓国の対ラテンアメリカ観の変容—半世紀の関係を振り返って— / チェ・ヘソン

・コメント / 村上 勇介

◆ *Encontros Lusófonos* (ISSN: 1346-5058), No.16

講演会

セルジオ・シュレシンガー「ブラジルのセラード開発と環境・主権問題—大規模農業開発と小農民・農業労働者の暮らし—」

論文

Lucila Etsuko GIBO “O contato linguístico na comunidade okinawana do Brasil e o português falado pelos okinawanos”

研究ノート

横田香穂梨「子どもの権利の「国際標準化」とブラジル—「特別に困難な状況にある子どもたち」の支援の制度化過程を中心に—」

宮入亮「『あり得べきファミリーニヤの家についてのメモ』とジョアン・カブラル・デ・メロ・ネット研究への可能性」

書評

Nilta DIAS “Eliane Marta Teixeira Lopes, Luciano Mendes Faria Filho, Cynthia Greive Veiga (orgs.) *500 anos de Educação no Brasil*”

編集後記

◆ 『イベロアメリカ研究』 (ISSN: 0388-1237)

・第XXXVI巻第1号 (2014年度前期)

講演

Jean-Louis LAVILLE “Solidarity Economy in the World: Its perspective in Latin America”

Mauricio BUGARIN and José Ricardo da COSTA E SILVA “From the Diretas Já to the Passe Livre Street Demonstrations: 30 Years of Citizen-led Institutional Consolidation in Brazil”

論文

藤田護「ボリビア・アンデスにおけるアイマラ語口承文学の躍動—ラパス市周辺の溪谷部における語りから—」

研究ノート

Betsy FORERO MONTOYA “Migraciones culturales y desplazamientos de género: un análisis de las actitudes de género en los consumidores colombianos de la cultura pop asiática”

現地報告

藤井嘉祥「グアテマラのマキラドーラ産業の衰退期における労働問題と地域社会の変化：労働者支援 NGO、CEADEL での聞き取り調査から」

書評

野中雅代「加藤薫著『アイコンとしてのチェ・ゲバラ〈英雄ゲリラ〉像と〈チェボリユーション〉のゆくえ』（新評論、2014年）iv, 179p.」

新木秀和「宮地隆廣著『解釈する民族運動—構成主義によるボリビアとエクアドルの比較分析—』（東京大学出版会、2014年）vi, 352p.」

大場樹精「Marcus J. Kurtz, *Latin American State Building in Comparative Perspective: Social Foundations of Institutional Order* (Cambridge: Cambridge University Press, 2013), 275p.」

資料

ラテンアメリカ日誌—2013年—

研究所ニュース

活動日誌

出版物リスト

編集後記

・第 XXXVI 巻第 2 号（2014 年度後期）

論文

川上英「反乱マヤ集団の対外戦略—「ユカタン・カスタ戦争」再考」

Carlos Javier MAYA AMBÍA “Globalización del consumo y regionalización de la producción: frutas y verduras mexicanas en el mercado japonés”

野内遊「スペイン語圏で制作されるナルコテレノベラの構造とタイプに関する一考察」

書評

藤井礼奈「Ching, Erik, *Authoritarian El Salvador: Politics and the Origins of the Military Regimes, 1880-1940* (Notre Dame, Indiana: University of Notre Dame Press, 2014) xvii, 459p.」

資料

日本・ラテンアメリカ関係日誌—2013年—

研究所ニュース

活動日誌

出版物リスト

編集後記

§ 来訪者

4月 9日 Damian DELGADO（キューバ）駐日大使館書記官

10月 6日 Luis BRITTO GARCÍA（ベネズエラ）作家

Gonzalo VIVAS（ベネズエラ）駐日大使館公使参事官

§ 図書室

蔵書数：39,075冊（和書4,349冊、洋書34,726冊）

受入継続雑誌：81点、うち洋雑誌64点

購入図書：220冊（和書85冊、洋書135冊）

受贈図書：55冊（和書20冊、洋書35冊）

§ 人事

◆ 正所員

2014年4月1日付で内村俊太助教（外国語学部イスパニア語学科、専門：歴史学）及び水谷裕佳助教（外国語学部グローバル教育センター、専門：文化人類学）が正所員に任命された。

◆ 客員所員 大越翼（任期4月1日～3月31日）

◆ 客員研究員 Juliano Akira ARAGUSUKU（任期5月21日～11月20日）

Carlos Javier MAYA AMBÍA（任期7月13日～8月13日）

Gabriel GARCÍA (任期 1 月 12 日～2 月 17 日)

◆ 共同研究所員 箕輪茂 (任期 4 月 1 日～3 月 31 日)

◆ 準所員 藤井嘉祥、増山久美、村瀬幸代、齋藤亜子、千代勇一 (任期 4 月 1 日～3 月 31 日)

§ その他のラテンアメリカに関する所員業績 (ABC 順)

◆ HASEGAWA, Nina

3 月 5 日	論文	「C.S.スアレスの作品に見られるメキシコ植民地時代以前のメキシコの文化的要素—『アレヒート君の見た悪夢 (La pesadilla de Alejito)』の場合—」『上智大学外国語学部紀要』第 49 号 69-116 ページ。
---------	----	---

◆ 幡谷 則子

4 月 26 日	討論者	京都大学地域研究統合情報センター(CIAS)共同研究ワークショップ「世界のジャスティス—地域の揺らぎが未来を照らす—」(於 京都大学)。
5 月 27 日	論文	“Colombian land problems, armed conflict and the state” (co-authors with Sergio Coronado, Flor Edilma Osorio Pérez and Nicolás Vargas Ramírez), en Shinichi Takeuchi ed., <i>Confronting Land and Property Problems for Peace</i> , New York: Routledge, 2014, pp.160-188.
6 月 7 日	コメンテータ	日本ラテンアメリカ学会第 35 回定期大会シンポジウム「共生経済と多元的社会—ラテンアメリカから日本へ—」
6 月 20 日	論文	「コロンビア 技術革新戦略として期待される太平洋同盟」『ラテンアメリカ・レポート』Vol.31, No.1, 2014 年 6 月 20 日、37-52 ページ。
7 月 23 日	出張	ワークショップ「ポスト新自由主義時代の民主主義の行方—グローバル化する世界と社会運動—」参加(於 京都大学 CIAS)。
8 月 8 日 ～9 月 12 日	現地調査	コロンビア(ボゴタ、サントアンドレス県サンヒル、ベレス、メデジン、キブドー)。連帯経済の理論と実践についての調査
9 月 18 日	出張	CELAO アジア太平洋ラテンアメリカ研究協議会(CELAO)第 6 回大会出席(於 京都大学)。
11 月 16 日	学会報告・ 司会	第 51 回ラテン・アメリカ政経学会全国大会。パネルディスカッション”Social Conflict in Latin America”司会及びパネル報告 “Peasant Movement for Life: Forced displacement and Land Ownership Disputes in Colombia” (於 神戸大学)
11 月 17 日	討論者	セミナー「現代ラテンアメリカの諸改革—その教訓と課題」(於 京都大学 CIAS)。
11 月 25 日	論文	「紛争と暴力」、ラテン・アメリカ政経学会編『ラテン・アメリカ社会科学ハンドブック』新評論、180-189 ページ(ISBN: 9784794809858)。
3 月 7 日	出張	ワークショップ「現代ペルーの国家と社会—暴力、エスニシティ、地方分権化」参加(於 京都大学 CIAS)。

◆ 子安 昭子

10 月 25 日	論文	「第 6 回 BRICS 首脳会議—ワールドカップ後の開催の意味を考える」『ラテンアメリカ時報』1408 号(2014 年秋号)、40-43 ページ。
1 月	論文	「修好 100 周年から 20 年間のブラジルの変化と日伯関係」『ブラジル特報』1624 号(2015 年 1 月号)、6-7 ページ。
1 月 24 日 ～2 月 1 日	現地調査	リオデジャネイロおよびブラジリア、外国語学部学内共同研究「アジア太平洋時代のラテンアメリカ」。

◆ 水谷 裕佳

8 月 1 日 ～8 月 13 日	現地調査	米国、アリゾナ州、パスクア・ヤキ保留地。博物館に収蔵されている先住民ヤキの工芸品の取り扱いに関する資料収集。
1 月 30 日	共著	「展示品をめぐる対話—北海道と東京における〈北米先住民ヤキの世界〉展」高

		倉浩樹編『展示する人類学 日本と異文化をつなぐ対話』昭和堂、83-108 ページ (ISBN:9784812214190)。
--	--	--

◆NEVES, Mauro

8月11日 ～8月27日	現地調査	ブラジル。
-----------------	------	-------

◆田村 梨花

4月1日 ～3月31日	共同研究 (研究分担者)	「学習者のウェルビーイングに資するノンフォーマル教育の国際比較研究」文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(B))、研究課題番号:10353377、2013/4/01～2016/3/31(予定)。
8月28日 ～9月14日	現地調査	ブラジル(サンパウロ・ベレン)。「学習者のウェルビーイングに資するノンフォーマル教育の国際比較研究」文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(B))、研究課題番号:10353377による調査。
8月10日	共著	第6章「外国につながる子どもと学校をつなぐ NPO のノンフォーマル教育—横浜市鶴見区 ABC ジャパンの事例から—」、牛田千鶴編『南米につながる子どもたちと教育—複数文化を「力」に変えていくために—』行路社、105-127 ページ (ISBN:9784875343004)。
11月16日	学会報告	ラテン・アメリカ政経学会第51回全国大会。分科会5A ブラジル、「ブラジルにおける Educação Integral の概念分析—Mais Educação プログラムとサンパウロの Bairro-Escola の試みから—」(於 神戸大学)。
11月25日	共著	「家族・ジェンダー」、ラテン・アメリカ政経学会編『ラテン・アメリカ社会科学ハンドブック』新評論、199-208 ページ (ISBN: 9784794809858)。

◆谷 洋之

10月25日 ～11月3日	出張	メキシコ、グアナフアト州グアナフアト市。グアナフアト大学で開催された第2回日墨学長会議に随行。その後、連邦区メキシコ市で資料収集。
11月25日	共著	「歴史的ルーツとラテン・アメリカ経済の周辺性」ラテン・アメリカ政経学会編『ラテン・アメリカ社会科学ハンドブック』新評論、54-61 ページ (ISBN: 9784794809858)。

◆TOIDA, Helena

8月～11月	現地調査	ブラジル、サンパウロ大学における「外国人向けポルトガル語教授法」の展開を調査。
10月29日	発表	“Ciclo de Palestras: Estudos de Língua e Literatura Japonesa na USP 2014-Literatura Japonesa Infanto-juvenil”, “Diálogos sobre tradução” -Departamento de Letras Orientais (Japonês), FFLCH, USP.
3月5日	論文	クロニカ(6)-詩人クロニスタ、C.ドゥルモン・デ・アンドラーデ」、『上智大学外国語学部紀要』第49号、99-115 ページ。

◆矢澤 達宏

10月2日	講演	「黒人活動家たちにとってのメディア—20世紀前半のブラジルにおける黒人新聞」慶應義塾大学人類学研究会・三田哲学会共催(於 慶應義塾大学)。
-------	----	---

◆吉川 恵美子

6月7日	学会報告	日本ラテンアメリカ学会第35回定期大会・分科会3(文学・大衆文化)「社会行動としてのパフォーマンス-ラテンアメリカの新しい演劇のかたち」(於 関西外国語大学)。
6月15日	学会報告	2014年度日本演劇学会全国大会・西洋ラテン分科会「ラテンアメリカのパフォーマンス考」(於 摂南大学)。

7月23日	発表	「現代のラテンアメリカ演劇—民衆演劇運動を中心に—」、シアターX・ラテンアメリカ演劇研究会(於 シアターX)。
8月25日	発表	「現代のラテンアメリカ演劇—パフォーマンスを中心に—」、シアターX・ラテンアメリカ演劇研究会(於 シアターX)。
9月8日	講演	「もうひとつの演劇のかたち—ラテンアメリカのパフォーマンス—」、ラテンアメリカ探訪・勉強会(於 千代田区和泉橋区民館)。
9月16日	講演	「人権をめぐるラテンアメリカ演劇を考察する」、SPT×ITI レクチャーシリーズ、世田谷パブリックシアター・国際演劇協会日本センター(於 世田谷パブリックシアター)。
9月23日	パネラー	「ビオレタ・ルナ初来日公演『国境の記憶』プレ・シンポジウム」、シアターX・ラテンアメリカ演劇研究会(於 シアターX)。
11月12日	学会報告	「ビオレタ・ルナのパフォーマンス作品をめぐる」、日本イスパニヤ学会第60回大会・研究発表(文化)(於 大阪大学)。
3月4日	劇評	ビオレタ・ルナ『国境の記憶』パフォーマンス公演報告 —ラテンアメリカ演劇紹介の試み—、ウェブマガジン『シアター・アーツ』< http://theatrearts.aict-iact.jp/201503/2610/ >、国際演劇評論家協会(AICT)日本センター。
3月27日	記事	「メキシコ/シェイクスピア・日本・国境」、『国際演劇年鑑 2015 世界の舞台芸術を知る』、国際演劇協会日本センター、96-103 ページ。

上智大学イベロアメリカ研究所

〒102-8554
東京都千代田区紀尾井町 7-1

Tel. 03-3238-3530
Fax. 03-3238-3229
E-mail: ibero@sophia.ac.jp
<http://dept.sophia.ac.jp/is/ibero>

所長 幡谷則子
副所長 子安昭子
正所員 Nina HASEGAWA
岸川毅
水谷裕佳
Mauro NEVES
田村梨花
谷洋之
Helena TOIDA
内村俊太
矢澤達弘
吉川恵美子
名誉所員 Gustavo ANDRADE
Jaime FERNÁNDEZ
林屋永吉
堀坂浩太郎
Osvaldo HURTADO
今井圭子
小林一宏
三田千代子
水野一
中川和彦
清水憲男
高山智博